

統合実習	4年・前期	2単位	准教授 鎌田由美子 他
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111204

1. 授業のねらい・概要

1. 既習の知識を統合し、看護実践現場における質の高い看護を提供するための看護管理の在り方を学ぶ。
2. 看護実践の質保証の工夫と評価について理解する。
3. 医療チームにおける看護チーム体制と他職種との連携・協働について理解する。
4. 患者および看護師の医療安全管理について理解する。
5. 患者の情報管理およびそのシステムについて理解する。
6. 看護職の人材活用、人材育成、継続教育について理解する。
7. 主体的に実習に取り組み、学生として責任ある行動をとることができる。

2. 到達目標

1. 看護サービスを取り巻く環境である社会ニーズ、諸制度について理解する。
2. 看護の対象に提供されるケアマネジメントとケアシステムの基本について理解する。
3. 看護サービスを提供するうえでのマネジメントの基本について理解する。
4. 看護サービスを提供する組織と個人の役割について理解する。

3. 授業の進め方

病棟管理者、看護師等と行動を共にしながら参加観察し、看護管理の視点から考察する。他、実習要項に示すとおり。

4. 授業計画（実習/実技）

1. 実習期間：4年次前期の2週間（このうち急性期成人看護学実習1週間含む）
2. 実習施設：群馬大学医学部附属病院
渋川医療センター
3. 実習内容：実習要項および実習開始前のオリエンテーションのとおり

5. 成績評価の方法・基準

実習態度・記録物（記録内容・提出物期限を含む）など病院実習に関わる事項（70%）、筆記試験（30%）によって総合的に評価する。ただし、実習および筆記試験はどちらも60点以上をもって合格とする。

6. テキスト・参考文献

看護の統合と実践① 看護マネジメント 医療安全 メヂカルフレンド社

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

テキストやその他を参考に事前学習し、ノートにまとめておくこと。

8. 受講上の留意事項

1. 自己および実習の課題や目的を明確にしたうえで主体的に取り組むこと。
2. 必要な感染対策ができていないものは履修できないことがある。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。ただし、実習記録は廃棄するため返却しない。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合卒業不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、実習を行う。